

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	日本学校保健会補助	担当部局庁	スポーツ・青少年局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和48年度	担当課室	学校健康教育課	学校健康教育課長 平下文康				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅱ-4 健やかな体の育成及び学校安全の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	学校保健安全法第3条	関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健法等の一部を改正する法律案に対する附帯決議(平成20年6月10日参議院文教科学委員会) ・保健体育審議会答申「児童生徒等の健康の保持増進に関する施策について」(昭和47年12月) ・保健体育審議会答申「生涯にわたる心身の健康の保持増進のための今後の健康に関する教育及びスポーツの振興の在り方について」(平成9年9月) 					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	財団法人日本学校保健会が行う学校保健に関する普及指導事業、調査研究事業及び健康増進事業について、必要な経費の一部を補助し、もって学校保健の振興を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	学校保健センター的機関として、学校保健の重要問題に関し、調査、研究、普及、指導、を行い、学校保健の向上に資するために必要な事業を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	70	52	50	45	45	
		補正予算	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—			
		計	70	52	50	45	45	
		執行額	70	52	50			
	執行率(%)	100	100	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業を行うことにより、学校保健に関し普及指導、調査研究、健康増進についての学校保健の振興を図るものであり、数値で定量的な成果目標を示すことは困難。		成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	○普及推進事業○調査研究事業○健康増進事業を実施することにより、学校保健の取組を推進するものであり、数値で活動指標を示すことは困難。		活動実績 (当初見込み)				() ()	
単位当たりコスト	—		算出根拠	—				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	8.6百万円	8.6百万円					
	旅費	7.0百万円	7.0百万円					
	印刷製本費	13.4百万円	13.4百万円					
	通信運搬費	3.4百万円	3.4百万円					
	その他	7.3百万円	7.3百万円					
	委託費	5.3百万円	5.3百万円					
	計	45.0百万円	45.0百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・当該事業の活動実績に係る点検方法については、実地検査を実施し、事業の実施内容及び活動状況について、適切に管理されているかを確認している。</p> <p>・財団法人日本学校保健会が行う学校保健に関する普及指導事業、調査研究事業及び健康増進事業について、必要な経費の一部を補助することで、学校保健の振興を図るという目的に向かって、着実に進展していると認められる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、学校保健の振興を図ることを目的として、財団法人日本学校保健会が行う事業(学校保健に関する普及指導事業、調査研究事業及び健康増進事業)の必要な経費の一部を補助する事業であり、事業開始から39年以上経過していることから、長期継続事業や事業の必要性等の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：この事業は、国の責務として各学校の保健及び安全に係る取組が確実かつ効果的に実施されるようにするために行われているもので、引き続き現在の予算規模を維持すべきであるが、事業仕分け第2弾の評価結果に基づく公益法人の事業の横断的見直し及び長期継続事業であることを踏まえ、今後の予算の縮減が可能か検討すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成22年度執行実績等を踏まえ、啓発資料等の部数を見直すことにより、概算要求額に▲2百万円反映した。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

文部科学省
50百万円

保健会が行う普及指導事業、調査研究事業、健康増進事業に対し、その経費の一部を補助する。

【補助】

A. 日本学校保健会補助:50百万円
(財)日本学校保健会

学校保健センター的機関として、学校保健の重要問題に関し、調査、研究、普及、指導、を行い、学校保健の向上に資するために必要な事業を行う。

【公募・委託】

B. 学校保健研修会の実施:2百万円
財団法人・任意団体(計9団体)

児童生徒の健康の保持増進を図る為に各県等で実行ある取り組みが実施されているが、さらに情報の共有化を図るため、ブロック大会を開催し、健康増進を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)

A.財団法人日本学校保健会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	報告書、ポスター、調査票、指導参考資料	14.9			
諸謝金	会議出席謝金、原稿執筆謝金	8.2			
旅費	会議出席旅費	7.9			
調査費	データ入力・集計分析	6.2			
通信運搬費	調査票、ポスター、指導参考資料 発送費	5.6			
その他	コピー用紙、インク、封筒等	4.2			
委託費	各ブロック保健大会委託	2.0			
備品費	プールクリーナー	1.0			
計		50.0	計		0
B.財団法人・任意団体			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	※1件百万円未満のため省略				
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。費目と使途の双方で
 実情が分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A. 日本学校保健会補助

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本学校保健会	学校保健の向上に資する諸事業	50	—	

※補助事業

B. 学校保健研修会の実施

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国学校保健主事会	学校保健研修会の実施	0.5	—	
2	茨城県学校保健会	学校保健研修会の実施	0.3	—	
3	第10回九州地区健康教育研究大会実行委員会	学校保健研修会の実施	0.2	—	
4	財団法人北海道学校保健会	学校保健研修会の実施	0.2	—	
5	第61回指定都市学校保健協議会実行委員会	学校保健研修会の実施	0.2	—	
6	滋賀県学校保健会	学校保健研修会の実施	0.2	—	
7	第43回東北学校保健大会山形県実行委員会	学校保健研修会の実施	0.2	—	
8	第55回中国地区学校保健研究協議大会山口県実行委員会	学校保健研修会の実施	0.2	—	
9	東海ブロック学校保健会連絡協議会	学校保健研修会の実施	0.1	—	

※四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。